表紙のことば

西淀病院入院患者一同「犬（一富士，二鷹，三なすび）」



この作品は入院患者様が，いらない A4 用紙を縦に 8 等分して切り，巻いたものです．巻いた紙に色づけして，台紙に貼ってつくりました．

一番大変なのは紙を巻く作業で，約 25,000 個つくって台紙に貼っています．片麻痺で手が動きにくい方や認知症，骨折の方など，さまざまな方に，紙を巻く，色づけする，絵に紙を貼る等，できる作業を分担していただき，制作しました．紙を巻くのは，訓練中に巧緻性訓練としてする方や，自室で自主練としてつくってくれる方で，約 6 カ月間かかりました．つくっていることをご家族様に自慢しながら笑顔で話されているのが印象的でした．

完成したときには，皆さん笑顔で喜んでいました．絵は 12 月から訓練室に飾り，戌年を迎えます．（担当 OT：成田）

今月の作品

本コーナーでは，表紙にご応募いただいた作品の中から毎月 1 点をご紹介します．



小林壽保「芝桜と富士」

作者は，身体の自由が利かず，ベッドでの生活が主となっています．わずかに動く手で作業することも，意味のない作業ととらえていました．しかし，『作業療法ジャーナル』への掲載を目標に，意欲が芽生え，作品づくりから作者は生活に喜びや希望を見いだしました．私自身，作業一つが人生の豊かさを変える偉大さに気づきました．（担当 OT：浅見芽紅）

脳梗塞を発症し，5 年が経過しました．主人はもちろんのこと，私も楽しいこと，うれしいこと等，少なくなってきた日々でした．今回このようなお知らせを聞き，大変驚き喜んでいます．本当にありがとうございます．（妻）

©MIWA-SHOTEN Ltd, 2018

2026/11/11 09:42:59